

# 浸水対策検討に向けたアンケート調査報告書【概要版】

## 1. 調査目的・方法等

### (1) 調査の目的

豪雨等による浸水リスクに対する市民の認識や、これまでの経験、避難行動や今後の備えに関する考えを把握し、今後の浸水対策の検討に活かすことを目的とするもの。

### (2) 調査期間

令和8年(2026年)5月12日～令和8年(2026年)5月31日

### (3) 調査方法及び調査対象者

- 調査方法  
郵送及びWEBアンケートによる回収
- 調査対象者

(ア) 令和7年8月豪雨にてり災証明書が提出された世帯のうち1280世帯  
(イ) L2区域(洪水・高潮発生時に3m以上浸水する可能性がある区域)の世帯のうち1280世帯

### (4) 有効回収数(有効回収率)

(ア)の世帯  
718人(56%)  
(調査票の返送による回答 460票・WEBにて回答 163票)  
(イ)の世帯  
500人(39%)  
(調査票の返送による回答 337票・WEBにて回答 163票)

## 2. 回答者の基本情報

■両者の回答者の属性に大きな違いはみられなかった。

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	25歳～44歳 125件(17%)	45歳～64歳 256人(36%)	65歳～74歳 145人(20%)	75歳以上 191人(27%)
-----	----------------------	----------------------	----------------------	--------------------

(イ)	25歳～44歳 85件(17%)	45歳～64歳 139人(28%)	65歳～74歳 112人(22%)	75歳以上 157人(31%)
-----	---------------------	----------------------	----------------------	--------------------

問2 現在のお住まいはどのような形態ですか。(1つ選択)(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	戸建て住宅(自己・家族所有) 683人(95%)
-----	-----------------------------

(イ)	戸建て住宅(自己・家族所有) 364人	集合住宅(賃貸) 106人(21%)
-----	------------------------	-----------------------

問3 世帯の中に、災害時の避難において、特に配慮が必要な方はいらっしゃいますか。(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	はい 328人(46%)	いいえ 386人(54%)
-----	-----------------	------------------

(イ)	はい 196人(39%)	いいえ 299人(60%)
-----	-----------------	------------------

問4 現在のお住まいには、どれくらいの期間お住まいですか。(1つ選択)(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	5年未満 100人(14%)	5年以上10年未満 118人(16%)	10年以上20年未満 114人(16%)	20年以上30年未満 77人(11%)	30年以上 307人(43%)
-----	-------------------	------------------------	-------------------------	------------------------	--------------------

(イ)	5年未満 94人(19%)	5年以上10年未満 55人(11%)	10年以上20年未満 75人(15%)	20年以上30年未満 70人(14%)	30年以上 205人(41%)
-----	------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	--------------------

## 3. 回答者の防災意識

- 防災意識について、(ア)の意識が高いことが分かる。
- 両者とも避難場所や避難経路の把握は進んでいる一方で、タイムラインの作成まで至っている世帯は少ない。
- (イ)の浸水経験は非常に少ない。

問5 洪水や高潮などにより、ご自宅やその周辺がどの程度浸水するかご存じですか。(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	ハザードマップ等で把握している 255人(36%)	浸水の恐れがあることは知っている 377人(53%)	その他 82人(11%)
-----	------------------------------	-------------------------------	-----------------

(イ)	ハザードマップ等で把握している 184人(37%)	浸水の恐れがあることは知っている 146人(29%)	聞いたことはある 75人(15%)	意識したことはない 93人(19%)
-----	------------------------------	-------------------------------	----------------------	-----------------------

問6 災害発生時に備えた準備状況について、最も近いものを選択してください。(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	52人 (7%)	避難場所等は把握しているが、 マイタイムラインは作成していない 296人(41%)	避難の重要性は理解しているが、 具体的な内容は把握していない 328人(46%)	その他 94人 (13%)
避難場所等は理解しており、マイタイムラインを作成している				
(イ)	34人 (7%)	避難場所等は把握しているが、 マイタイムラインは作成していない 175人(35%)	避難の重要性は理解しているが、 具体的な内容は把握していない 249人(50%)	その他 76人 (15%)

問7 これまでにお住まいの場所で、浸水による被害を経験したことはありますか。(ア:n=718、イ:n=500)

(ア)	ある 645人(90%)	ない 55人(8%)
(イ)	ある 62人(12%)	ない 428人(86%)

### 4. 浸水経験者のニーズ

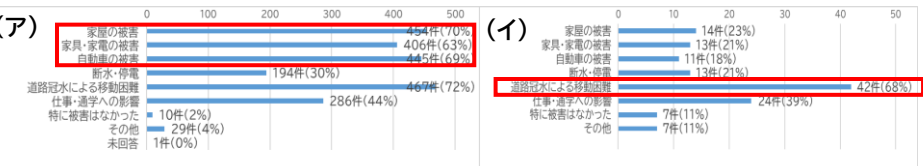
■(ア)は床上・床下浸水、家具・家電・自動車の被害が多く発生している。一方で、(イ)の主な被害は敷地内までの浸水被害で、道路冠水による移動困難となっている。

■両者とも氾濫状況の情報不足により、避難のタイミングが分かりづらいという意見が多くみられた。

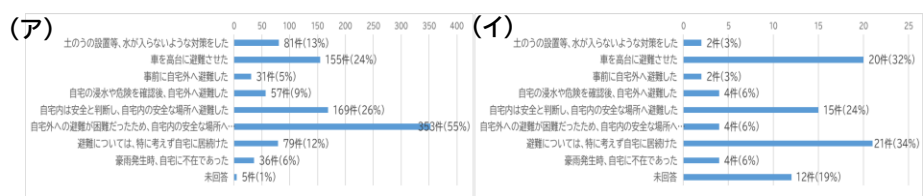
問8 浸水した際の状況について、最も近いものを教えてください。(ア:n=645、イ:n=62)

(ア)	建物の床下まで浸水した 303人(47%)	建物の床上まで浸水した 314人(49%)		
(イ)	敷地内まで浸水した 25人(40%)	建物の床下まで浸水した 21人(34%)	建物の床上まで浸水した 6人(10%)	その他 10人(16%)

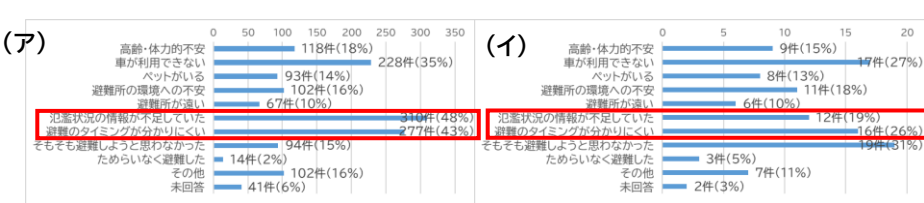
問9 浸水時、どのような被害が発生しましたか。(複数選択可)(ア:n=645、イ:n=62)



問10 浸水時、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとりましたか(複数選択可)(ア:n=645、イ:n=62)



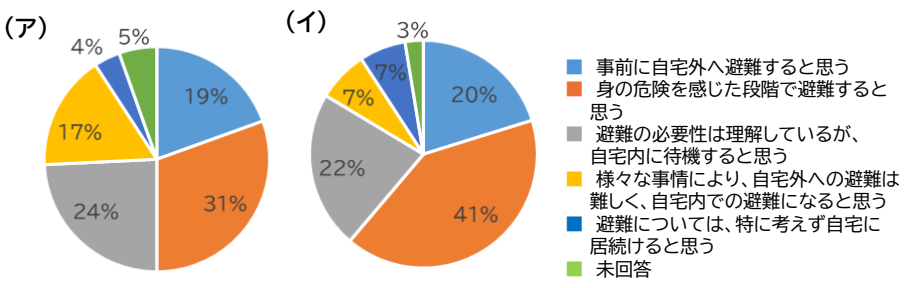
問11 自宅外への避難行動が難しかった、またはためらいを感じた理由があれば教えてください。(複数選択可)(ア:n=645、イ:n=62)



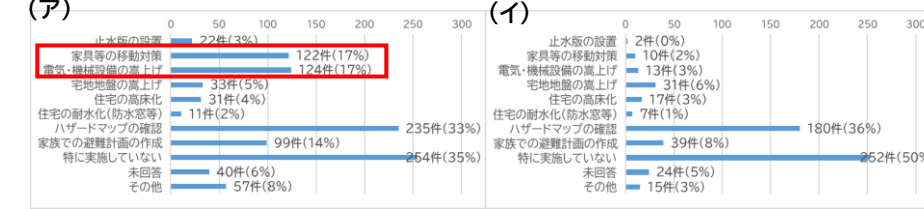
### 5. 浸水時の行動・現状の備えについて

■両者の避難するタイミングに大きな差はみられないが、(ア)は浸水時への具体的対策を講じている世帯がみられた。

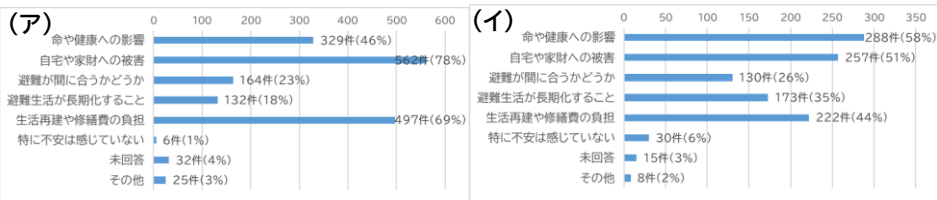
問12 今後、豪雨により浸水の恐れがある場合、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとると思いますか。(1つ選択)(ア:n=718、イ:n=500)



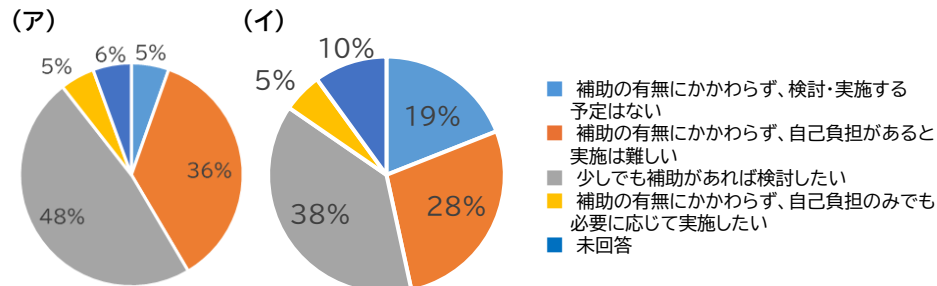
問13 現在、浸水に備えて実施している対策はありますか。(複数選択可)(ア:n=718、イ:n=500)



問14 豪雨が発生した場合、特に不安に感じることはなんですか。(3つまで選択可)  
(ア:n=718、イ:n=500)



問17 ご自身で住宅の浸水対策を行う場合の費用負担についてどのように考えますか。  
(1つ選択) (ア:n=718、イ:n=500)



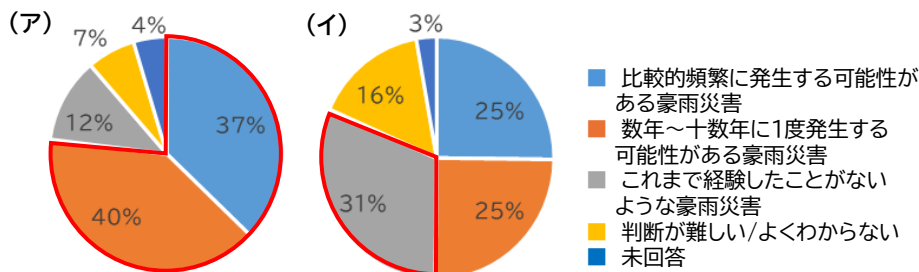
## 6. 今後の浸水対策・費用意識について

- 重視する災害頻度・規模について、両者の重視する災害規模に違いがみられる。
- 検討したい対策として、(ア)は「止水板の設置」、「家具等の移動対策」等の具体的な対策へのニーズが多くみられるほか、「宅地地盤の嵩上げ」や「住宅の高床化」などの構造的対策にも一定のニーズがみられるが、一方で、(イ)は「ハザードマップの確認」や「家族での避難計画の策定」といったソフト対策へのニーズが中心である。
- 費用負担については、両者に大きな違いはみられなかった。

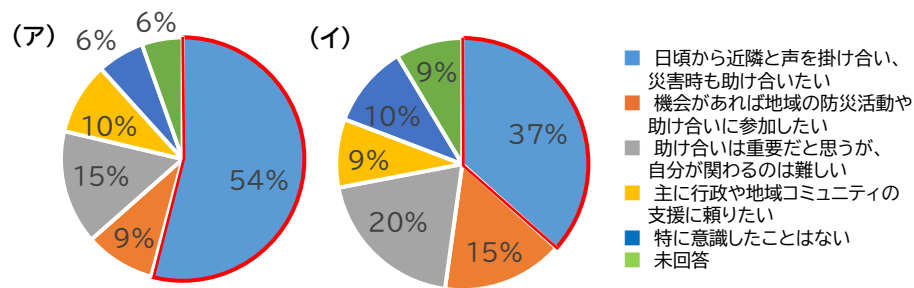
## 7. 今後の浸水時の共助・公助について

- 共助については、両者とも、「日頃から近隣と声を掛け合い、災害時も助け合いたい」と答えた世帯が多くみられる。
- 行政に期待する取組として、(ア)は「個人の浸水対策への補助」、(イ)は「避難所の改善(環境・設備)」を求める世帯が多くみられる。両者とも、「堤防などのハード対策」や「浸水情報・警戒情報の精度向上」を求める世帯が多くみられる。

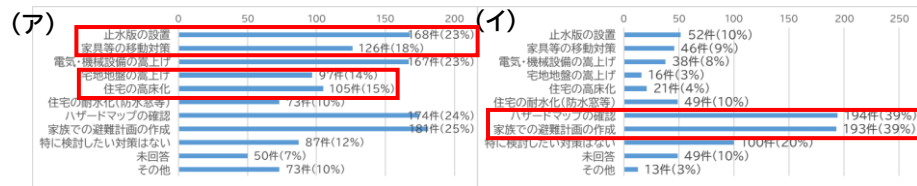
問15 あなたが今後、浸水対策を検討すると想定した場合、特に重視する災害の頻度や規模についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。(1つ選択)  
(ア:n=718、イ:n=500)



問18 豪雨・浸水時に備えて、近隣住民や地域での助け合い(共助)について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択) (ア:n=718、イ:n=500)



問16 今後、浸水に備えて新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策はありますか。(3つまで選択可) (ア:n=718、イ:n=500)



問19 豪雨・浸水対策として、行政に期待する取組を教えてください。(複数選択可)  
(ア:n=718、イ:n=500)

